

27B 日帰り旅行サークル 〈平成29年の活動〉

【平成29年5月17日】くれよんバスツアー

◆「食べてまんぷく！もらって満足のお土産三昧！」の日帰り旅行へ行ってきましたよ♡



日帰り旅行サークルでは、平成29年5月17日（水）

参加者16名でくれよんの会津・喜多方方面

「29コのお楽しみ」ツアーに参加しました。V(^-^)/

<行程>

新発田(営)6:40-豊栄PA(7:05)-新潟BC(8:00)-
新潟駅南口(8:15)-新津駅. 安田=柳津：福満虚空
蔵尊圓蔵寺(拝観)-ほまれ酒造(庭園見学・試飲)-
喜多方(昼食・うるし美術館見学)-会津若松
(いちご狩り食べ放題)-会津柏屋(試食・ショッピング)=
阿賀の里=各乗車地(17:00~)



〔旅のお楽しみ〕

♥赤べこ発祥の地で運氣アップ！日本三大虚空蔵尊、会津の古刹圓蔵寺を拝観。

♥IWC2013. 2014ゴールドメダル受賞蔵で1300坪の広大な日本庭園見学と多種日本酒を試飲

♥日本一を誇る乾漆美術の世界「うるし美術館」で福島伝統の美を見学

5月17日旅行日当日は、晴れの18度／12度と、さわやかな旅行日和。

新潟交通新発田営業所で、参加者1名を乗せ、AM6：40にスタートしたくれよんバスは、途中、新潟バスセンターで6名、新潟駅南口で7名、最後に新津駅西口から2名が乗り込み、我々グループ総勢16名を乗せ、会津・喜多方方面を目指し＜磐越道＞を快適に走りました。(^^)/

車中では早速、ツマミが回り始め、定番の「乾杯〜」。片手にお酒、片手にツマミの間に最初の観光地 柳津の＜福満虚空蔵尊圓蔵寺＞に到着。

<福満虚空蔵尊圓藏寺>

会津きっての名刹・福満虚空蔵菩薩圓藏寺は千二百年にもおよぶ歴史を誇り、多くの参詣者を集めています。圓藏寺とゆったり流れる只見川、JR只見線を一望できる撮影スポットです(写真)。



<喜多方市のほまれ酒造>

圓藏寺拝観後は、会津ほまれ酒造「雲嶺庵」へ。ここは工場と小売処があり、同社ガイドさんの案内で蔵見学させていただきました。案内された小売処に行くと見たことのある女性のポスターが。お店の方から、この女性は社長の娘さんであることを教えられびっくり(写真)。

福島県出身の芸能人・美人アナウンサー「唐橋ユミさん」は会津ほまれ酒造のお嬢様でした。
(因みに妹さんは、シンガーの唐橋宙子氏)

日本庭園「雲嶺庵」は、1300坪という広大な原生林をそのまま利用して造られたものです。庭の背景に、雲の間から見える磐梯山の山頂が望めることから、文学博士・綿貫哲雄氏が「雲嶺庵」と命名しました。

昭和25年に造園されて以来、拡張を重ね現在の姿があります。ケヤキ、マツ、モミジ、サクラなど四季折々の顔が覗き、借景のすばらしさは朝晩眺めても飽きのこないものです。

直売店では、試飲に長い列。10種類以上の日本酒があり、なかでも ゆず果汁と純米酒との絶妙なコラボレーションの「ゆず酒」や長期熟成「梅酒」が人気で買い求める方多数。





日本庭園「雲嶺庵」



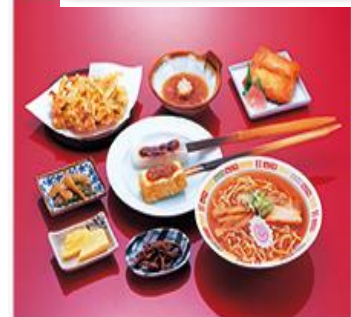
直売店には広大で立派な日本庭園がありました。

<蔵屋敷あづまさ～会津郷土料理の昼食>

試飲で気持ち良くなった後は、お楽しみのランチ会場へ。
蔵屋敷あづまさは、福島県一の穀商、松崎家の蔵屋敷を改築。
館内はけやき造り・総漆塗りで、見事な漆美術品を展示。
庭園を眺めながら、手打ち蕎麦、喜多方ラーメンなどが食べられる。
なかでも蔵出し味噌を使った香ばしい田楽は人気の一品。
おもてなしする福島美人の福島弁はどこか郷愁があって温かい。

〔ミニラーメン定食(クリ饅頭の天ぷら付)〕

喜多方ラーメン、おいなりさん2個、地粉100%の田舎味噌
田楽2本(山椒味噌、甘味噌)、会津麴の煮物など
縁起物「起き上がりこぼし」の絵付けも体験(土産として持ち帰り)



<うるし美術館～日本一を誇る乾漆美術の世界>

お腹パンパン後は、美術鑑賞。うるし美術博物館は、かつて福島県内一を誇った大地主・風間邸の離れ屋敷でした。
館内はけやき造り・総漆塗りで、生涯を漆塗りに没頭した情念の塗師『田中 亨』の見事な乾漆美術品を展示しています。

<昼食後 イチゴ狩り>

さて、美術鑑賞後は、待望のイチゴ狩りです。ビニールハウスの中でイチゴの食べ放題
別腹とはありがたい。真っ赤に熟れたイチゴを別の別腹にしっかり仕舞い込み元は取れた(?)。

別腹や小腹まで使い果たし、完全なメタボ状態。～もう、ダメえ～(㍻_㍻)と思いきや、ショッピングで寄った「会津柏屋」で会津名物「薄皮まんじゅう」の試食。
ここで小休止後は、「阿賀の里」で新潟県産コシヒカリの両手すくいどりと元祖浪花屋柿の種のすく

いとり。いっぱい取ろうと色気を出すとダメ。無欲の自然体が一番のようだ(因みに大量は女性)。

ここでのおやつタイムに温かい「玉こんにゃく」と焼きたての「赤エビの塩焼き」をいただきましたが、さすがに食べられた方は少数派(多数派はお土産として持ち帰り)。

さらにどどーんとアジ、ふぐ、カレイの海産物セットがお土産に (・_・)エッ.....?。

全てのお腹を使い果たし、沢山のお土産とメタボさん達で重くなったバスは、新潟を目指し復路を走る。お昼寝をする間もなく、新津駅西口へ到着。その後は、往路と同じく駅南口、新潟BCへ。

駅南口で下車した女性数名は、女子会会場へ(夕食用の別腹は確保してあるのだろうか(*_*))。

食べてまんぷく、もらって満足のお土産三昧旅行は最高でした！(今夜はお腹を休めるため休肝日にしようっと…(^_-))

皆さんお疲れ様でした。(^.^)y~~~~

今回幹事の第二班の野澤班長さんはじめ、班員のみなさんの素敵な企画と楽しい運営ありがとうございました。(*_^*)